

江北だより

令和3年度 第4号
令和3年9月18日発行

9月1日(水)より、第2学期が始まりましたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う緊急事態宣言発出中のため、分散登校でのスタートとなりました。

夏季休業中に実施された全国高校総体 ポート 男子シングルスカルで、本校生徒が優勝しました。また、軟式野球部が選手権大会東京地方大会で第3位になるなど、本校生徒が大活躍しました。

大学模擬授業(2年)

7月16日(金)に、15校の大学に参加していただき、本校で実施しました。

一部はオンラインでの授業となりましたが、大学での学び・研究を知る貴重な場となりました。

これを機に、各生徒が各自の適性を活かす進路選択へ、力強く進むことを期待します。



TOKYO GLOBAL GATEWAY(2年)

7月19日(月)に、感染防止に配慮しながら、学年として初めての校外での行事を実施しました。

様々な場面で、英語を使って問題解決をする実践力を養うなどしてきました。

今後の英語学習に対する意欲及びいつそうの学習効果の向上につながることを期待します。



夏期講習・夏季特別セミナー

夏期講習は、3年生32講座、2年生9講座、1年生8講座開設し、多くの生徒が参加しました。

また、特別セミナーは8月下旬に1・2年生特進クラスを中心に各学年2日間開催しました。国数英の講習のほか、大学受験予備校の方を講



師として難関大学ガイダンス(写真)を実施しました。志を高くもち、希望進路の実現につながることを期待します。

夏期見学会

7月17日(土)から8月6日(金)までの間、夏期施設見学会も含め、延べ17回実施し、約500組の中3生・保護者の方に参加していただきました。本校の教育活動をご理解いただき、進路選択の一助になったのであれば幸いです。



新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、8月中旬以降の回を中止しました。参加を予定していた方には、深くお詫び申し上げます。

部活動等

◎ポート 沢目君(3年)

全国高校総体・
全日本高等学校選手権大会

8月16日(月)～19日(木)
於 福井県立久々子湖漕艇場
男子シングルスカル 1000m

予選から準決勝まですべて1位で通過し、決勝では2位に1秒以上の差をつけ、見事、優勝しました。おめでとうございます。

予選4組	16日(月)
3分39秒25	1位通過
準々決勝2組	18日(水)
3分31秒10	1位通過
準決勝1組	19日(木)
3分35秒76	1位通過
決勝	19日(木)
3分24秒41	1位



く本人からのコメントく
オリンピック競技の中で唯一後ろに進むボート競技。お金を賭け合い、モータを使うボートレースでは

なく、羽根田選手がオリンピックでメダルを取ったカヌーでもなく、公園で乗れるローボートやアヒルボートでもありません。上半身より下半身の筋力が必要で、ムダにゴツイ筋肉は艇を沈め抵抗を増やすだけのため減量は必須。筋力、持久力、体幹、メンタル、その他様々な要素のバランスが必要なとてつもなくキツイ競技です。

しかし、自然と一体となり水の上を駆け抜け、風を切り裂き、漕いできた景色を見渡しながら、力強く大河を突き進むボート競技は、とても素晴らしいスポーツです。私の目標は世界で活躍する選手となり、マイナーであるボート競技の魅力を多くの人に伝えることです。

今回の全国優勝は目標への第一歩。開催が復活となった世界選手権で優勝出来るようこれからも精一杯鍛錬して参ります!!

インターハイでも沢山の応援を本当にありがとうございました!!



◎軟式野球部

◇全国高等学校軟式野球選手権大会 東京地方大会

- 1回戦 7月24日(土)
江北○9―4●東洋大京北
 - 2回戦 7月26日(月)
江北○18―5●東京都市大付
 - 3回戦 7月28日(水)
江北○8―6●駒場東邦
 - 4回戦 7月29日(木)
江北○10―1●科学技術学園
 - 準決勝 7月31日(土)
江北●1―3○城西大附属城西
(都3位)
- 城西大附属城西高校は、決勝で成
立学園高校を5―0で破り、全国大
会出場を決めました。



◇秋季東京都高等学校軟式野球選手 権大会ブロック予選

- 準決勝 8月24日(火)
江北●4―5○早稲田

◎女子ソフトボール部

公立選手権大会

- 1次リーグ 7月17日(土)
江北○12―3●八王子東・秋留台・
山崎・東久留米総合
- 江北○5―4●小松川
1位通過
- (決勝トーナメント進出)
- 決勝トーナメント1回戦
8月1日(日)
江北●6―9○日野台
(都公立ベスト16)



◎バドミントン

新人戦I部大会兼関東選抜大会 都予選大会(個人・複)

- 8月15日(日)～22日(日)

男子複

- (全8組 各組2ブロック)

- 1組―2
若山輝・慶本拓実(2年)
ベスト8(4回戦進出)
- 2組―2
柴崎康太・柿田凌(2年)
3位入賞(5回戦進出)
- 3組―2
奈良陽希・川目遙大(2年)
3位入賞(5回戦進出)